

令和8年度

# 施政方針



※令和8年第1回郡上市議会  
定例会における市長の施政  
方針より抜粋  
(全文は市ホームページに  
掲載しています)

令和8年度施政方針のご説明にあたり、まず、皆様と共有しなければならぬ数字があります。

本市の令和6年度の出生数は138人。令和7年度の見込は113人。そして、母子手帳の発行数から予想される令和8年度の人数は105人です。1学年平均290人の現役小学生世代に対し、新たに生まれる命は約100人。人口減少が私たちの想定を超えるスピードで進んでいるこの現実、もはや足元を見るだけの対症療法では太刀打ちできないことを示しています。10年先、20年先を見据えた「郡上創生！未来を拓く」へと、市政運営の舵を大きく切り替えなければなりません。

令和8年度は、今議会に基本構想を上程いたしました第3次総合計画のスタートとなる年です。本計画では、10年後の目標人口を3万人としました。人口が増えることは誰もが願うところですが、将来人口の推計値からはそれを望むことはできません。私たちは、人口減少という現実を正面から受け止め、人口減少を前提とした市政運営、地域運営を目指さなければなりません。そして、人口が減少する中にあっても住民一人ひとりの

満足度、幸福度といった「質」を高めていく必要があります。そのために、本計画では「人口減少に応じたサイズへのシフトを図ること」、「郡上らしさを守り、磨き、発信すること」、「市民のみなさんが自分たちの暮らしをよりよくするために行動できるまちづくりを進めること」をまちづくりの視点とし、「心満ちる 心おどる 心地よいまち郡上」を将来像に掲げて、様々な施策を展開していくこととしました。

令和7年度に断行した事務事業の大幅な見直しに続き、令和8年度予算編成においても、徹底した点検と効果検証を継続してまいりました。今回の予算編成においては、国が示す地方財政計画に基づき地方交付税の増額を見込んだこともあり、財政調整基金からの繰入金を1億円まで抑制することができました。かつては6〜7億円という基金に頼らざるを得なかった本市の財政が、ここまで健全な姿を取り戻しつつあることは、大きな前進であります。これは、深刻な物価高騰や人件費の上昇という逆風の中にあつて、経費の膨張を最小限に抑え込んだ職員一人ひとりの粘り強い努力に他なりません。この「入りを量

りて出ざるを制す」という姿勢を職員と共有し、現場が絞り出した財源を、「郡上創生」への投資、そして市民の皆様の安心を守る予算へと振り向けていきます。

令和8年度は、目玉事業として、「旧大和西小学校跡地の宅地化事業」に着手いたします。学び舎としての役割を終えた学跡地を、若者や子育て世代のための「新たな暮らしの拠点」へ再生させる。これはまさに「郡上創生」を象徴するプロジェクトと考えています。同時に、「今、地域で暮らしている方々の安心」も守り抜きます。また、昨年12月に国より示された物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用し、中小事業者が行う省エネ設備の導入に対する支援や保育園、幼稚園、認定こども園の給食費無償化、一般家庭における省エネ家電の購入に対する支援など、物価高騰に対する各種の支援策を盛り込みました。

第3次総合計画に描く郡上市の将来像の実現に向けて市丸となつて取り組んでまいりたいと思っておりますので、議員の皆様並びに市民の皆様には、今後ともご支援とご協力をお願い申し上げます。

市長公室秘書広報課